

地域の安心を第一に考えた  
病院づくりを目指しています。

当院  
理念

- 1地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
- 2救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い、専門医療を実践します。
- 3患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。



TOPICS

# クリスマスコンサート

12/15、患者さま食堂におきまして「クリスマスコンサート」が開催されました。雪の降る寒い日にもかかわらず、50人ものたくさんの患者さま、ご家族が集まってくれました。

今年のコンサートは、ギター奏者である松木幸夫さまをお迎えし、フルート奏者の平池医師との共演でした。ギターとフルートの心地良い音色に約1時間引き込まれながら、素敵なひとときを過ごすことができました♪



※日曜・祝日は休診いたします。

地域医療  
連携室

相談受付時間：  
午前9時から午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

地域連携 / 他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談 / 経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でのご相談でも構いません。

外来診療時間	[平日] 午前9時～午後6時
	[土曜] 午前9時～12時30分(専門外来は午前9時～12時です)

診療担当	月	火	水	木	金	土	
午前 9:00 ~ 12:00	外科系診療	院長 北川	院長 平池	院長 山本	院長 平池	院長 北川	交代制
	内科系診療	土田	土田 佐々木	土田	土田 佐々木	土田	
午後 13:00 ~ 18:00	外科系診療	平池	山本	北川	北川	平池	
	内科系診療	佐々木	土田	土田 佐々木	土田	土田 山本	

1月1日より、当院で新しく診療を担当します。  
佐々木 寿誉 医師 外科・内科・消化器外科・消化器内科・肛門外科



第17号 平成23年1月1日発行 / 発行元 医療法人社団 土田病院 / 編集 土田病院 広報委員会 / 次回発行平成23年4月1日



看護師長  
仲田 恵子



## 支えあう医療をめざして

あけましておめでとうございます。  
昨年は、地域の皆様に支えられながら看護部理念である「思いやりを持った優しい看護を提供する」を目標に皆様と触れ合うことができたことを有り難く思っています。

近年、介護疲れによる心中・殺人という高齢者虐待に関する悲しいニュースが増えつつあります。厚生労働省で行われた09年度の調査では高齢者の虐待は08年度より4.9%の増加となり、06年度の統計開始以来過去最多となっています。また、虐待による死亡も32人と過去最多となり4年間で1.24倍の増加になりました。被害者の多くは女性、加害者は半数近くが息子で身体的虐待や暴言が半数以上を占めています。

虐待に至る背景はそれぞれだと思いますが、「自宅で介護をする」ということは介護をする側にとって大きな負担となっていることがうかがえます。

地域の皆様に支えられている当院が、介護への悩みを抱えている方々のお役に少しでも立ち、地域に貢献できる環境を整えていけるよう私たち看護職は皆様と触れ合っていきたいと思っております。いつでもお気軽にご相談ください。



医療法人社団  
**土田病院**  
TSUCHIDA HOSPITAL  
札幌市1次・2次救急指定病院  
TEL 011-531-7013  
札幌市中央区南21条西9丁目2-11  
<http://www.tsuchida.or.jp>



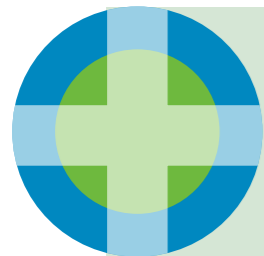
診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病室 / 35床(全室個室)、医療療養病床 / 99床





## 第8回北海道胃ろう研究会に参加して

副院長 北川一彦



道内における、経皮内視鏡的胃ろう造設術(PEG)ならびに栄養療法に関する情報ネットワーク構築をめざして設立された「北海道胃ろう研究会」は、平成22年11月13日札幌コンベンションセンターにおいて当番世話人の土田茂(当院院長)により8回目の学術集会が開催されました。当日は一般演題18題、特別講演2題と500名以上の参加者により活発な意見交換が行われました。

胃ろうとは、病気が原因で経口摂取ができない方のために「おなかから胃に直接細いチューブを入れて、そこから栄養剤を注入する方法」です。造設した後に経口摂取訓練や嚥下訓練を行うこともでき、経口摂取が十分可能となればチューブを簡単に抜くことができます。さらに在宅での栄養管理も可能です。

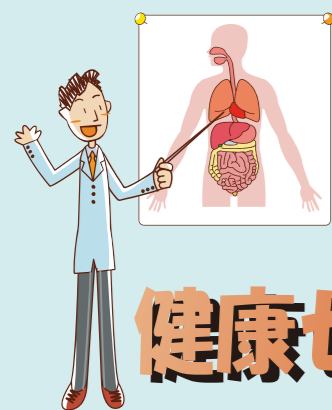
当院ではPEGを道内において最も早い時期から実施しています。PEGはすでに確立された安全な手技ではありますが、研究会ではそれぞれの施設で造設時の工夫や経胃ろう内視鏡を用いたチューブ交換方法などの発表があり、当院での造設・交換手技にも非

常に参考となりました。また、摂食訓練・嚥下訓練の方法や適切な看護の仕方など、すぐに対応できるような実り多い研究会でした。

またPEG不能例に対して、経皮経食道胃管挿入術(PTEG)という方法があり、当院でも行うことが出来ます。しかし、造設用のキットはありますが保険適用されていなかったため普及していません。来年度には保険適用となるようですので、PEG不能例に対するPTEGも今後研究がさらに進むと思われます。

患者さんのQOL向上のために、医師やコメディカルスタッフが治療とケアを行うことは、今後ますます重要となります。PEGやPTEGは栄養療法にとって非常に重要な手技の一つです。研究会などで新しい知見を持ち寄り、さらに安全な造設・交換・栄養管理を行えるよう研鑽を積みみたいと考えます。

4月には当院が当番幹事となり「第10回日本PTEG研究会学術集会」が札幌で開催されます。



## 健康セミナー

専門の医師およびパラメディカルが分かりやすく解説します。ぜひお越しください。

会場はいつでも土田病院患者食堂です。

### 1月 第57回

日 時 平成23年1月25日(火)予定  
午後2時～  
演 者 地域医療連携室

### 2月 第58回

日 時 平成23年2月22日(火)予定  
午後2時～  
演 者 栄養科

### 3月 第59回

日 時 平成23年3月22日(火)予定  
午後2時～  
演 者 医 局



## 「インフルエンザ」という招かれざる客。

薬剤科 天野あつむ



すでにインフルエンザワクチンの接種を終えた方も多いのではないのでしょうか。今回はこのインフルエンザの治療薬についてお話ししたいと思います。

インフルエンザと診断されると、解熱剤や咳止めなどの症状を抑えるための対症療法薬 ウイルスの増殖を抑える抗インフルエンザウイルス薬が医師より処方されることが多いと思います

### 対症療法薬

解熱鎮痛剤、消炎剤、鎮咳剤、去痰剤などは症状を緩和するお薬でインフルエンザウイルスそのものに効果を発揮するものではありません。

一部の解熱鎮痛剤では、インフルエンザの場合使用を控えたほうが良いものもあります。

### 抗インフルエンザウイルス薬

体内でのインフルエンザウイルスの増殖を抑えるお薬です。

インフルエンザウイルスは症状が現れてから2～3日後に最も数が増えるので、出来るだけ早期(48時間以内)に使用したほうが、治療効果も良いとされています。

以下が現在保険適用されている抗インフルエンザウイルス薬です。いずれも成人に使用する時の用法用量です。

ラピアクタ	注射剤	1回投与A型、B型ウイルスに有効
イナビル	吸入剤	1回2容器(4吸入)1回投与 A型、B型ウイルスに有効
リレンザ	吸入剤	1回2吸入1日2回 5日間投与 A型、B型ウイルスに有効
タミフル	経口剤	1回1カプセル1日2回5日間投与 A型、B型ウイルスに有効
シンメトレル	経口剤	1日1～2回 最長7日間 A型ウイルスのみに有効



それぞれ特徴があり、小児に使用するときには注意が必要なものもあります。

医師・薬剤師の説明を良く聞き判断されるとよいでしょう。

高齢者や糖尿病・喘息などの持病をお持ちの方、妊婦、乳幼児などは合併症を引き起こし重症化することがあります。

医師と相談の上、早期の治療をお勧めします。

## 特定検診 メタボ検診

### 各種検診受付中!

当院では、特定検診やメタボ検診、肺癌検診を専門医が直接おこなっております。また、各種検診についても専門医が責任を持って、随時おこなっております。ぜひ、ご相談ください。

## 専門 外来

いずれも、保険適応となりますので、お気軽にご相談ください。



PEG・PTEG(胃ろう)外来

木曜日の午後

消化器(肝臓)専門外来

第2・4木曜日の午後  
(13:00～17:00)